

メールマガジン 埼玉県議会



発行：埼玉県議会



No.264 2019.1.18

県議会広報テレビ「こんにちは県議会です」
1月1日(火曜日)放送「新春インタビュー」
(各会派代表議員)

県議会広報テレビ「こんにちは県議会です」(テレ玉)では、各定例会の様式や各委員会委員長のインタビューなど県議会に関するさまざまな情報を放送しています。

今号のメールマガジンでは、1月1日(火曜日)に放送した「新春インタビュー」をご覧になれなかった方のために、各会派の代表議員へのインタビューの内容をお伝えします。



[☆放送スケジュールなどは、県議会のホームページをご覧ください。≫](#)

INDEX



県議会広報

こんにちは県議会です「新春インタビュー」

- 小島信昭 団長(自民)
- 浅野目義英 代表(立憲・国民・無所属)
- 西山淳次 団長(公明)
- 鈴木正人 代表(県民)
- 柳下礼子 団長(共産党)
- 木下博信 政調会長(改革)



議事堂の花

生け花のご紹介



県議会広報

【こんにちは県議会です「新春インタビュー」】

各会派の代表議員に新春に当たっての抱負などを伺いました。

◆埼玉県議会自由民主党議員団 小島信昭 団長◆

—昨年はい具体的にどのようなことに取り組まれたのでしょうか。—

団長 まずは、経済の好循環を生み出すための取り組みです。経済政策には、広く長い視点を持って、かつ先手を打って取り組んでいかなくてはなりません。具体的には、国が目指している「超スマート社会」を全国に先駆けて実現すべく、県西部地域にAIなど未来産業を集積させ、県全域に経済波及効果を生み出すグランドデザインをわが会派が提案いたしました。昨年9月の定例会では、農業大学校跡地を株式会社IHIIに売却する議案が可決され、いよいよ動き出しました。今年はこの計画を確実に進めていきたいと思ひます。



—会派として将来を見据えた事業に着実に取り組まれているのですね。条例についても提案がありましたね。—

団長 昨年は、「埼玉県犯罪被害者等支援条例」の制定や「埼玉県青少年健全育成条例」の改正をわが会派が提案し、可決成立いたしました。どちらの条例も、県民の安全・安心を守るため、わが会派のプロジェクトチームが調査研究を重ねて、他会派の賛成も得て実現したものです。

—今年の抱負をお聞かせいただけますか。—

団長 超高齢社会や人口減少といった社会構造の変化、また、AIやIoTによる第4次産業革命は、あらゆる物事を根底から変えると言われていまひす。時代が大きく変化する中で、変化をチャンスと捉え、埼玉県の成長につなげていかなくてはなりません。県民の皆さんの声に耳を傾けることはもちろん、時代の先を見据え、積極的に先手を打って行動していくことが、非常に重要であると認識しています。

私たち自由民主党議員団は、本県の発展のために最大会派としての責任を果たしてまいります。どうぞよろしくお願ひいたします。

◆立憲・国民・無所属の会 浅野目義英 代表◆

—昨年を振り返っての感想をお聞かせください。—

代表 埼玉県にとり、二つの出来事が思い返されます。

一つは、10月、プロ野球パ・リーグで埼玉西武ライオンズが10年ぶり22度目の優勝を遂げたことです。県民の喜びが爆発しました。

もう一つは、8月、残念なことですひが県議会では不祥事が続き、現職の議員、そして元議員の2人が書類送検されたことです。「信なくば立たず」を強く決意しなければならぬと思ひています。



—今年はい、どのようなことに取り組まれていこうとお考えですか。—

代表 ラグビーワールドカップ2019や東京2020オリンピック・パラリンピック

が近づいています。熊谷ラグビー場などから大きな感動が生まれるはずで
す。万全な整備と丁寧な対応を進めなければなりません。

また、県内の100歳以上の高齢者数は2,405人となりました。超高齢社会
の波が訪れます。長寿社会は手に入れられそうですが、健康長寿、幸福
長寿の実現も強く求められます。そのために、「どんな未来が待っているの
か」、そして「どんな未来をつくっていくのか」を考える議論をしなければなり
ません。

困難な時代は立ち止まることを許しません。私たちは努力を傾けてまいり
ます。

—年頭に当たっての抱負をお聞かせください。—

代表 私たちは所属議員9人の会派です。一人ひとりが、それぞれの選挙
区の課題、また全県をカバーする課題、さらに県議会が抱えている課題に
対して、挑戦心を持って取り組んでいきます。

県民の利益になっているのか否か、大義はあるのか否かを熟議し、考え
を意思表示する場が議会であると思っています。私たちは、県議会へお送
りいただいている原点をひとときも忘れることなく、決して慢心することなく、
仕事をしていく決意です。

◆埼玉県議会公明党議員団 西山淳次 団長◆

—昨年を振り返っての感想からお聞かせください。—

団長 一言で言うと、災害の多い一年だった
と思います。大阪や北海道の地震、西日本
の豪雨、台風の上陸も相次ぎ、各地に甚大
な被害をもたらしました。改めて日本は災害
多発列島であることを再認識しました。



—本当に災害の多い一年でしたね。—

団長 そこで、今年、わが党は改めて、「防災・減災を政治や社会の主流
に」と訴えていきたいと考えています。災害を引き起こす自然現象そのもの
を止めることはできませんけれど、あらかじめ対策を講じることで災害をで
きる限り防ぐ、あるいは災害による被害を減らすことは可能です。気象観
測情報の精度を上げたり、自助・共助の取り組みにより被害を少なくする、
避ける、回復を早くする、これらの先頭に立ち、リードすることこそ政治の使
命であり、原点です。首都圏直下地震など、本県にも甚大な被害をもたら
す可能性のある災害対策をもう一度見直すことも必要です。

—ほかには、今年、どのようなことに力を入れていけますか。—

団長 「地域共生社会の推進」を掲げてまいります。この、地域共生社会
は、制度・分野ごとの「縦割り」や、「支え手」「受け手」という関係を超えて、
住民や地域の多様な主体がつながり、住民一人ひとりの暮らしと生きが
い、地域を共に創っていこうとする考え方です。この理念をぜひとも県政に
取り入れ、具体化していきたいと決意をしています。

—今年の抱負をお聞かせください。—

団長 今年も、あくまでも県民目線に徹しながら、未来を展望した政策や、

県民の皆さまが求める課題に全力で取り組んでまいります。

◆無所属県民会議 鈴木正人 代表◆

—今年、どのようなことに取り組まれていこうとお考えですか。—

代表 自然災害が多発するようになった状況を踏まえ、災害対策を急ぐべきだと考えております。

わが会派は、昨年大阪府北部地震発生後、すぐに県内で倒壊の恐れがあるブロック塀のような危険箇所を確認した上で、早急な対策を講じるよう、上田知事に要望いたしました。県内すべての危険箇所に安全対策を行うとともに、河川に関しては必要な調整池の整備や堤防のかさ上げ、河道掘削など、国を巻き込んで早急な対策を講じられるよう、努力していきたいと思っております。



—ほかに力を入れていきたいことはありますか。—

代表 財務省などは財政危機をあおっておりますが、プライマリーバランスの黒字化についても、最近ではその必要性に疑問の声も上がっております。負債の金額だけではなく、資産も入れた国のバランスシートで見ると、実は国全体の財政はまったく危機的状況にはないという指摘もございます。

いずれにしても、政府や自治体が必要な投資を惜しんだことにより、災害時に本来守ることのできる命が奪われては本末転倒です。

引き続き、全国知事会の会長でもある上田知事を通じて、命を守るための対策を早急に進めるよう、要請していきたいと思っております。

—年頭に当たっての抱負をお聞かせください。—

代表 このほかにも、大人の引きこもり対策や、昨年教育委員会で障害者雇用の水増しが問題になりましたが、県職員への障害者の積極的な雇用や社会的な環境づくりなどに、しっかりと取り組んでいきたいと思っております。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

◆日本共産党埼玉県議会議員団 柳下礼子 団長◆

—昨年を振り返っての感想をお聞かせください。—

団長 昨年は、国内外で重大事故を起こしているオスプレイが県内上空でも飛び回り、私が住んでいる所沢の米軍通信基地では、突然離着陸するなど、市民の皆さんに不安を与えました。

一方、沖縄県知事選挙では、辺野古新基地反対を掲げた玉城デニー知事が誕生しました。さらに、全国知事会も、日米地位協定の見直しを求める提言を政府に行いました。沖縄県民とも連帯し、基地の問題解決に引き続き取り組ん



でまいります。

—ほかにはどのようなことに取り組んでいこうとお考えですか。—

団長 「消費税が10%に上がったら、とても暮らしていけない」。皆さんから怒りの声がたくさん寄せられています。今年10月の消費税10%引き上げストップ！この闘いに力を尽くしたいと思います。

高すぎる国保税も県民の暮らしを脅かしています。今後も国保税の負担軽減に県が責任を果たすよう、強く求めていきます。

—今年一年の抱負と決意をお聞かせください。—

団長 4月には県議選が実施されますが、現職の全員当選はもちろん、議案提案権を目指して党県議団をさらに大きくしていきたいと思います。また、夏には参院選、県知事選と続きます。「9条改憲NO、消費税増税NO、地方自治守れ」の立場で今年も頑張ります。今後ともご支援をよろしくお願い致します。

◆無所属改革の会 木下博信 政調会長◆

—昨年を振り返っての感想をお聞かせください。—

議員 昨年は、議会の権能と役割は何なのか、という点が問われた一年だったと感じています。報道ニュース等では、県民不在の政争ばかりが目立った県議会、などと総括されていることもありましたが、ほとんどの時間は県民の暮らしを向上させるための提言であったり、県庁の仕事の仕方への問題提起、課題の指摘であったり、県民の代表としての議論に費やされていました。



私たち無所属改革の会でも、さまざまな提言、提案を行いました。その一つに、児童相談所と警察の情報共有があります。当初、知事も担当部長も児童相談所の持っている情報すべてを警察と共有することには難色を示していました。しかし、予算特別委員会をはじめ、さまざまな形で提言、働き掛けをすることで、今年度から取り組みが始まり、その成果も実感され始めています。

議会での決議を受けて知事が条例を提案するなど、埼玉県議会は議会としての役割を果たすために多くの力を注いできた一年間であったと感じています。

—今年はどうのようなことに力を入れていこうとお考えですか。—

議員 先ほど、議会の役割をしっかりと果たしている埼玉県議会と申し上げましたが、それが政争ばかりしている、と思われてしまう面があるとしたら、そこは謙虚に受け止め、県議会の姿が伝わっていくよう、どう表現の仕方と行動を変えていくか考えていきます。

そして社会的に厳しい状況に置かれている県民へ、県庁が何をすべきなのか。それができる県庁であるために、どういう形に仕事や仕組みを変えていくべきなのか。

現場の課題に対応するとともに、県庁全体の在り方について再考し、新たな在り方構築のスタートの年にしていきます。

—最後に、メッセージをお聞かせください。—

議員 県民の皆さん、県政は見えにくく分かりにくいかもしれませんが、ぜひ、埼玉県議会が何を行おうとしているのか、2019年、注視していただけるとありがたく存じます。どうぞよろしく願いいたします。

[▲トップへ](#)

議事堂の花

このコーナーでは、議事堂の玄関ホールに飾られた生け花をご紹介します。

【協力 埼玉県いけばな連合会】



展示期間：

1月7日

～1月11日

作者：

池坊

青木孝雄様

花材：白梅、紅

梅、枝垂れ

柳、猫柳、若

松、千両、菊、

ベニツゲ、シャ

ガ、梅の苔木

◇◆生け花の作者の方にお聞きしました！◆◇



〈池坊 青木孝雄様〉

Q: 正月を感じさせる日本らしい華やかさを持つ作品ですね。

A: 正月らしさを演出する紅白の梅や若松と、作品に広がりを持たせている枝垂れ柳は、生け花の伝統や歴史を感じさせる材料となっています。そして、中心からまっすぐと上へ伸びる猫柳は、その白く輝いて見える花とともに芽吹きや勢いを表現しています。

Q: 今回の作品には季節感やテーマなど感性が働いているのですね。

A: この作品は立花新風体という私たちの流派の中で比較的新しい形で

す。立花正風体が自然観を重んじるのに対し、立花新風体は生ける人の感性でおのおのイメージ膨らませ、作品を作り上げることが求められます。

[☆現在展示中の作品や過去の展示作品は、県議会のホームページでご覧になれます。≫](#)

[▲トップへ](#)

【注意】

●メールマガジンにおいて氏名の一部にJIS規格第1・第2水準にない文字がある場合、第1・第2水準の漢字で表記しています。

【お問い合わせ】

●[「メールマガジン埼玉県議会」の登録・解除はこちらから≫](#)

※登録事項(メールアドレスなど)を変更する場合には、お手数ですが、変更前のメールアドレスを一度解除してから新規に登録してください。

●「メールマガジン埼玉県議会」についてのお問い合わせ・感想はこちらまで！

E-mail a6250-03@pref.saitama.lg.jp

埼玉県議会事務局政策調査課

〒330-9301 さいたま市浦和区高砂3-15-1 電話 048-830-6257/FAX 048-830-4923

© 2008 Saitama Prefecture All Rights Reserved. 無断転載を禁じます。

